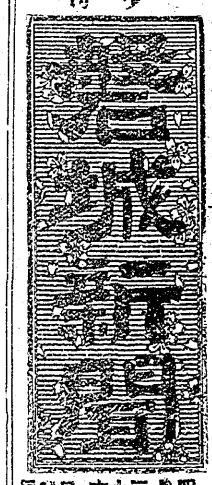
夕刊
四月二十六日發行
定價一ケ月金六拾錢　廣告料金五拾錢
發行所　磐城新聞社
福島縣石城郡平町大字平字十六番地
電話平一〇六五五八番
（日曜日祭日休刊）



天氣豫報

小名浜測候所觀測

今朝　南東の風曇
後雨
翌日　南（風雨

平局俳黎會　四月句會互選句集

『春　灯』

○藥の香澱む廊下や春灯り　碧笑
○睡長きにかげなまめかる春灯　同
○名知らぬ街の春の灯よぎる汽車の窓　同
○春灯肩跡青き女形かな　青風
○山沿ひの温泉宿靜けく春灯　同
○春灯パチおく歌妓のくすわ緋裏　華岳
○水郷の春灯ゆらぎし舟渡る　獏子
○春灯天水桶に浮いてゐる　同
○春灯やくもゆとる野の嫁送り　同
○春の灯の一つともりし山路かな　無聲
○春灯をためらひて入る茶屋の門　白砂
○春灯や長押に下る三味袋　同
○灯春の灯の雨に濡め〳〵街暮るゝ　麗月
○點して春のお樂し友と酌む　同
○春灯に母は祭の晴着縫ふ　金七
○春の灯の窓おぼろなる家の見ゆ　三囚
○春の灯に櫛つゝ香りまめかし　同
○春の灯に山家をぞめき更けにけり　果秋
○水原たてば春灯たゞよふ丹後澤　陽光
○春のひや藁屋根低く靜もれり　同
○沼の果春ひともりて水匂ふ　同
○雨やみの麓ひをめぐる春ひかな　陽光
○碓子戸のはね雨光るはるもしも　鷹子
○丸窓に春の灯影のほのかなり　松鶴
○春のひにうるむ人形　瞳よ愛し　水明

磐城の獅子舞研究（九）

山口彌一郎

5、しゝ舞と若者組との關係

獅子舞には若者が關與した。內郷村白水にては十五歳より三十二歳までを若者三十二歳より三十五歳まで後見と言ふ。古くはしゝを八歳より十歳まで位の子供に舞はせたと言ふが今は年十五歳並の付合ひで十七、八歳位の若者がかむる。花笠は現在子供がかむつた。然し現在は長男のみ。こゝでは長男、次男三男の何れがしゝをかむつてもよかつたらしいが、現在は炭礦村になつてをり、本戸數三十三戸の長男のみかしゝ舞を行ふ事になつてゐる。草野村北神谷にては十五歳より二十歳まで小若衆、二十歳より二十五歳まで中若衆、二十五歳以上が後見で、世話人には三十歳位の長男が除られる。しゝ舞は小若衆が主として關與し不足の場合のみ中若衆が棒を手傳ふ。婿にはしゝはかむせず花籠の役に當てる。これは婿がしゝ舞を嫌ひ為めと言つてゐるが、長男に限らず次男もかむる。內郷御高坂にては十六歳より三十二歳までを若連と呼ぶがしゝに長男のみかむる。なつて居り、婿に向ふ二ケ年十五歳並の附合をさせられる。若連の世話人は年長者が二人當る。高久村八幡にては中三ケ所、場屋根岸、下三ケ所の四部落の若者が交代に四年目にしゝ舞を奉納するが、しゝは十四、五歳の長男に限られ、棒を十才より十二才まで位の小供が行つた。婿は一ケ年十五歳並の付合ひで『きとひかつぎ』即ち花笠を持つ。然し現在は長男のみ。しゝ舞が行はれにくい。夏井村菅波にてもしゝ舞には十七才より二十三歳までの若衆が關與するがしゝをかむるのはなるべく長男でも、婿にはさせない。鎌田五靈神社にても古くは長男のみ役割を營てゝ居る。飯野村下荒川にては十五歳より三十歳までが若衆で、しゝには特に制限はなかつたが、昔は棒技の領袖と白刃は長男のみに限られたと言ふ。

△足利尊氏歸順（元弘三）△高松城水攻（天正一〇）△エマースン死す（一、八八二）△帝國と北京政府間に政治助成協定成立（昭和一三）

4月27日

〇夜の芝居そゞろ心に見るときは小春の闇もおもはれしかな　吉井勇

講談

恩讐無道

久我莊多郎
香川三十代書

（85）

―地の巻―

かげらふ（三）

專藏たちを見送りに出た給仕が二人より一足先に表へ駆けてゐたが、すぐ引返して來て、

『お車が見えませんが……』

と報告した。

自定用の馬車を持つてゐるといふ、豪家な身分の專藏なのである。給仕は、この品のいゝ、それだけに常に心附けを多分に振舞ふ客に忠義立のつもりだつたらしい一足先に出てゐたのは馭者に專藏のお歸りを知らせためだつたらう。

だが、待つてゐる筈のその馬車は、見えないといふ。

『ふむ』

專藏は、鷹揚にうなづいた。

『チラと、お樂を見迎つて來る。』

『三五郎は、どこへ行き居たのか……』

『本當に、どうしたのでございませうね』

他人が傍にゐると、美しい威嚴を保たねばならないといふことはお樂は知つてゐる。

かうして見れば、とこに人の怖れる女賊、月ノ輪のお樂の面影があらうか、あくまで、あでやかにも嫋々たるものである。

給仕は、お樂の美しい面ヶ、額越しに盗み見

『ハイ』

『ハイ』

『ハイ』

從來以上大掛りに
廢品回收運動計畫
地方各種團体に新使命

屑物奉仕、献金即ち廢品回收による銃後運動は、既に青年團乃至各種婦人團体等の手により地方でも平市はじめ各方面に於て數多く行はれ夫々良好の成績を收めて來たが、時局柄物資動員の必要愈々深刻化して來た今日新に官民一如の廢品回收積極方針が決定されて各方面に亘る從來以上大掛りな屑物蒐集が行はるるものと觀られてゐる

地方では知事が商工大臣指揮の下に市町村其他自治的團体及び青年團、婦人團体、在郷軍人會、學校等が參加し棉、羊毛、紙、機械、油、鐵、銅、亞鉛、アルミニューム、ゴム等の重要物資に就き廢品或は死藏品を原則として廢品取扱業者をして回收せしめ、尚は團体はので自家用を除き總て供出業者の力足らざる點を補せられたいと云ふ意味に於て之に協力し更に回收したものを再生工場に直送し或は政府に献納する等一般的に業者を介在せしめぬを便宜とする場合は團体自ら行ふ事にする

と云ふ建前で近く取扱ひ細目の決定と共に文書、圖書、映畫、展覽會等を通じ市町村當局を繞て大衆に呼び掛けられものと豫想されるが廢品は再生品の原料たる關係上價格騰貴を抑制すべきものなるを以て廢品の價格如何に拘らず假令廢品の價格低下するとも之に積極的に買却せしむる方針で計劃實行後に於ては地方的にも大なる成果が期待されるであるう

全國的石炭怠需
常磐地方への影響注視

軍需生産力の擴充に伴ひ本年來月十三日平体聞事務所年度に於ける石炭の新規需で行はれる、前日これを受要增加額は實に莫大な數字付け縣經辛組合聯合會が處れ上も之に對する供給增加理して陸軍省へ納入するも目下全力を傾注してゐるが物的及び人的資材の供給不圓滑により理想的の操業に出でられず常磐現在年産三百萬噸の倍加計劃はあり乍らも當面の賄ひに就き或る種の苦慮を續けてゐる狀態に在り、而も今日に於ては民需を極度に制限する高度の配給統制を實施する以外に方法が無いと云ふ處から現在行はれてゐる原料炭及び配合炭の切符制を一般燃料炭にも擴大することが不可避と見らるるに至つたのでこの全國的關係が地方炭界に如何なる態樣を以て消長するか其の方面の注目をひいてゐる

羊毛共同處理　濱三郡下の羊毛共同處理は既報の如

割當五萬五千圓
平局で愛國債券賣出し

支那事變第八回國債ち號の十四萬圓に上るわけである

五日からの

貴出しは昨二十五日

常國神社

の臨時大祭に當つたので當

際は今日が蓋あけである。

平局への割當は當ては

十圓、二十五圓、五十圓

百圓、五百圓、千圓

各種合計五萬四千八百二十五圓の多額に上つてゐるが燃ゆるが如き愛國の感激から例により若干の豫約などもあり今回も亦期間中には全部の消化を見るであらうと期待されてゐる。一昨秋以來同局に於ける前後八回の消化額は實に三十八萬四千圓と云ふ驚異的好成績で今回の分を併せて總額約四

小川江
水利組合議員選擧
時局柄靜穩裡に決定

小川江筋水利組合議員の選擧は昨二十五日平市外一町六ケ村に於て一齊に執行されたが灌漑反別千三百餘町歩に亘る工費二十八萬圓の大動脈を維持管利すべき重大使命を有する代表者を擧ぐる眞面目な意味に於て理由なき競爭などは行はれず平穩裡に左記の如く當選した

（平市）六六票矢吹初彌　五五木田源宗　四三上妻萬次郎　四一松崎松治　三五金成德次

（四倉）門馬公平（大浦）木村清治、片寄左京、根本權次郎、酒井良平、佐藤儀平（草野）芳賀辨之助、渡邊重彌、篠崎久之助、粥塚富一郎、阿部勝造（神谷）箱崎昇吾、須藤孝（樫村）精作、大場音次郎、中根秀次郎（大野）小野善太郎

△二等泉村佐藤彌吉△三等神谷村志賀忠五郎、草野村古市喜一

仙鑛支所
落成

來月四日竣功式

災害防止能率增進等銃後の石炭增産上その指導鞭撻に任する新施設として過般市内に開設された仙台鑛山監督局平支所は過般來四軒町二番地に新築中やあつたが此程愈々完成したので來月四日午前十時から同所に於て落成式を擧行すると

水稻增收競技成績　縣農主催の十三年度紫雲英施用法改善水稻增收競技會で郡内入賞者左の如し

眞犯人は會計助手
日曹小田大金泥の謎解ける

生鈴木己六(三)の犯行とにらみ手配中二十四日平驛前に現はれたところを平署員が追跡、好間街道で逮捕、身柄を四倉署に護送した、餘罪數件自白

泥的捕はる　湯本町水野谷前科七犯馬上量平(四六)は去る十二日内郷村綴上田炭礦運轉手室から衣類、時計等十餘點(六十圓)を盜んだ

湯本、内郷、平方面から前後十數回の盜みがバレて二十五日平署笠原、野地、棚邊三刑事に捕はれた

五百圓の穴埋め
花柳街に出入りした
―犯人新妻の行狀

〔既報〕怪奇の好間村日曹小田鑛業所大金窃盜事件につき平署では犯行の狀況からあくまで内部のものゝ仕業とにらんで捜査の手を進めた結果二十五日に至り果然同鑛會計助手新妻茂武(二〇)の犯行と判明、事件發生以來十日目で凱歌をあげた

犯人新妻は一昨年夏以來五日、炭礦では出り封筒に目をつけ午後一時神祭のため會計を手頃係員の隙を見て素早く一日繰上げ鈴木主任が當陽寄取、便所内でうち三十圓銀行平支店から從業員二千名の外關係方面に支拂ふべき二萬四千餘圓を拂戻し一午前十時から同鑛應接室で會計係員五名によつて現金の出入りを計算し中新妻はこのうち最も多額な同礦飯場頭吉井を抜き取つて殘額は事務所附近の地中に埋め素知らぬ顏でゐたものである

犯行の動機は花街に出入り中生じた五百圓の穴埋のため遂に邪心を起したものと云はれて居り引續き本田司法主任により追究中

地中に埋めて知らぬ顏
魅せられた札束の山

事件發生の去る十組への千六十五圓三十錢入り中生じた五百圓の穴埋のため遂に邪心を起したものと云はれて居り引續き本田司法主任により追究中

人夫賃値上
平市仕事師組合で愛國債券賣出し

平市仕事師組合では諸物價騰貴に伴ひ來月一日から人夫賃を一圓七十錢同女一圓二十錢に値上げを實行する事になつた

高階氏寄附
市内四軒町高階一郎氏は亡妻フミ子さんの遺志により愛嬢平分會、國嬢隔三分會、同支部、軍事後援會へ各五十圓を寄附

馬目氏表彰
市内五丁目馬目武之助氏は昨二十五日の靖國神社臨時大祭に際し銃後の國民的感激から今二十六日市軍事後援會に金十圓を寄附した

和牛貸付決る　市農會では諸橋會長の寄附で購入した改良和牛三頭を左記三名に貸付け決定

上平窪金成德治、中平窪五十嵐文次郎、下平窪長瀬三喜郎

小泉氏表彰さる　市役所戸籍主任小泉長佐氏は此程福島での縣下戸籍事務聯合會で戸籍事務功勞者として表彰された

農事評議員會　郡農事部農事評議員會で農事講習同窓會評議員會を二十六日午前十時から平團体事務所に開く

豚で國防費造成
二十頭を目標に
ハリキル小田坑夫達

曾ての左翼闘士市村政美君がリーダー格となり去る二月十一日の紀元節を卜して結成式を擧げた好間村日曹小田炭礦豚飼育會は同村塊坪地内の豚舎を建て現在七頭を飼育、深夜歸宅して疲れても身を顧みず皆んなで飯集め等に奔走してゐるが現在他に賣れる程度にまつたもの二頭ある

今後は大いにこれを殖やして二十頭位にしたいと云ふのがみんなの理想である

その純益を國防献金に當てるを目的としたものだけに

献金
市内一丁目青年團及び第五區では區内廢品回收代七圓五十一錢を恤兵金として市役所寄託

霧笛

乞食中の超絶名物男ランプ學亡き今日、むさくるしい點に於て斷然此種仲間中の王座を占めて居る お菰婆さん。紅小路界隈を中心に移動ベッドたる莚を背負ひ黄色い歯齦を見せてニヤ〜笑ひ乍ら、歩るき疲れと隨時隨所に半風子狩りの小休みと來る。煙草と茶が何よりの好物と見るで亡夫相傳の品とも見ゆる長煙管と茶碗と即ち之の嗜好に關するセットを手放さぬが寒中には所持のマッチで物騒な焚火を遣らかし人々をはら〜させた事も一再でなく昨今の暖氣にそれは無くなつたが、何か食ひ合せでも惡かつたのか今日は田町の某所で朝から例の半風子牧場を展開する勇氣も無くうづまつてゐた。今後梅雨どきにあの臭氣を發散させ乍ら歩き廻られるのを思ふと夥しくウンザリする。と田町界隈に早くも不安時代を現出して居る。

謹告

諸物價の騰貴に加へ、人夫愈々不足を來たし候に付組合一同協議の上、誠に不本意には候共、五月一日より人夫賃銀左の如く値上決定仕候間何卒御諒承下され度、以紙上御通知申上候

一、人夫一人　金壹圓七拾錢也
一、女人夫一人　金壹圓貳十錢也

四月二十五日

平市仕事師組合

御得意樣

どんな事あつても
奉公の至誠を致す
木町出身　鈴木卓君(倍通)

承前・七日つて三十分バンボーン前の本部に通ずる山から支那兵の彈が來ました。電話線が昨夜敵の爲めに切斷されてしまひました。一は前の岡の方へ駈け出しました。ヒユッ〜頭上を横音がします。來たな。吾々は前の岡に引上げる樣に○○隊の岡に引上げる樣に○○隊の岡に引上げる樣に○○隊